

さとうきびの除草剤

農林水産省登録
第14683号

ゼンコル® 水和剤

(メトリブジン50.0%)



効きめ鮮やか、
畑いきいき



メヒシバ



ムラサキカタバミ



■ 特 長

- ①一年生雑草の他にムラサキカタバミにも除草効果を示します。
- ②雑草の発生前から2葉期まで使用できる処理適期幅の広い薬剤です。
- ③長期間雑草の発生を抑えます。
- ④さとうきびに対する安全性に優れています。

■ 適用雑草および使用方法 (適用地帯：九州・沖縄)

(2004年2月現在の登録)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当り使用量		本剤およびメトリブジンを含む農業の総使用回数	使用方法
				薬量	希釈水量		
さとうきび	畑地一年生雑草およびムラサキカタバミ	植付直後～ 植付45日後まで (雑草2葉期まで)	砂壤土～ 埴土	300g	100ℓ	1回	全面土壌散布
				100～200g			雑草茎葉散布

®はドイツ・バイエル社登録商標



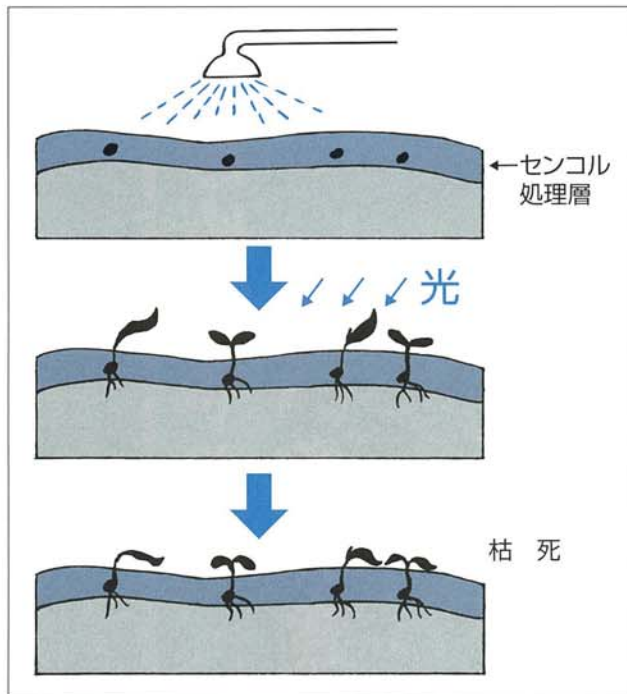
Bayer CropScience

■ 殺草メカニズム

センコルは、光合成阻害型のトリアジン系除草剤です。

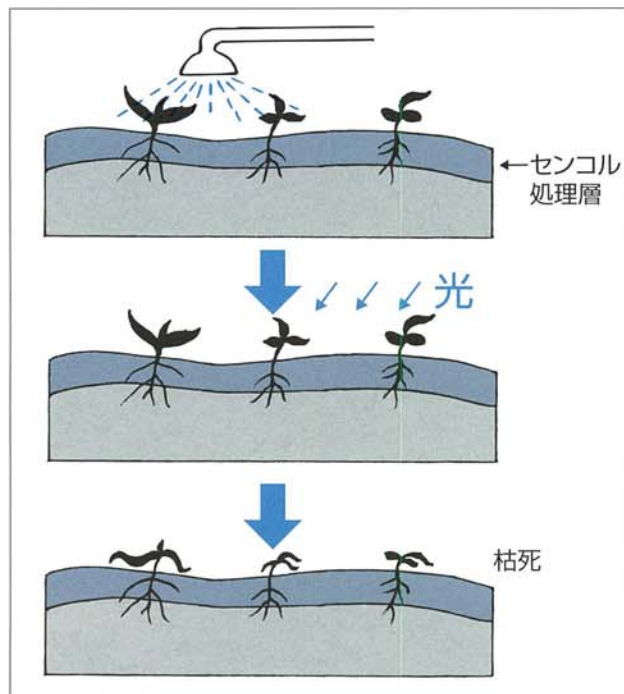
1) 土壌処理の場合

雑草の発生前に処理された薬剤は土壌の表層に処理層を作り、雑草の発芽後に根から吸収され、上部に移行し、光合成を阻害し、徐々に枯死させます。



2) 雑草茎葉処理の場合

雑草の発芽後～2葉期に茎葉処理された薬剤は茎葉および根から吸収され、光合成を阻害し、徐々に枯死させます。



雑草の根または茎葉から吸収された薬剤が光合成を阻害することによって雑草が枯死します。通常、雑草が本剤を吸収してから1週間位で効果が発現し始め、効果完成には2～3週間を要します。

■ 注意事項

- 雑草があまり大きくならないうちに散布して下さい。
- さとうきびに使用する場合は、春夏植えでは移植後、株出し型では中耕後に使用して下さい。また、多年生のムラサキカタバミに対しては、地上部は枯死するが地下部は残りやすいので所定薬量の範囲内で多めの薬量を使用して下さい。
- 土壌の乾燥が続く場合には土壌散布は効果が低下するので雑草の発生後に茎葉散布して下さい。
- 有機質含量の低い土壌や砂質土壌では薬害を生ずる恐れがありますので使用しないで下さい。
- 本剤は適用作物以外の作物には薬害を生ずる恐れがありますので、それらが付近にある場合にはかからないように注意し、散布して下さい。
- 激しい降雨の予想される場合は使用を避けて下さい。
- 水源池などに本剤が飛散・流入しないように十分注意して下さい。
- 散布器具・容器の洗浄水は、河川などに流さず空袋などは環境に影響を与えないよう適切に、処理して下さい。

● 使用前にはラベルをよく読んで下さい。● ラベルの記載以外には使用しないで下さい。● 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。